



ごあいさつ

三重県警察本部 生活安全部長

警視正 久保 博嗣

新年あけましておめでとうございます。

NPO法人三重県防犯設備協会の皆様には、健やかなる新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

会員の皆様方には、平素から地域住民に対する各種防犯機器の普及や防犯意識の啓発をはじめ、犯罪被害の防止にご尽力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年中における県内の刑法犯認知件数は、全体として減少傾向にあるものの、侵入盗や乗り物盗が増加しているほか、郵便局における持凶器強盗事件やコンビニエンスストア、深夜飲食店等を狙った強盗事件等、県民が大きな不安を感じる犯罪が発生したところであります。

また、振り込め詐欺につきましても、被害件数とともに、被害金額につきましても一昨年を大きく上回ったほか、性犯罪の前兆ともいえる女性・子どもに対する声掛け、つきまとい等の不審者情報も依然として高い水準にあります。

こうした厳しい情勢下において、三重県警察では、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、各種施策に取り組んでいるところでありますが、刑法犯認知件数のピークであった平成14年以降、犯罪が減少している要因のひとつには貴協会が中心となり、地道に取り組んでいただいている犯罪被害に遭いにくい防犯住宅設備などの普及促進活動にあると思っております。

また、昨年には、地域住民に対する防犯カメラの寄贈といった新たな取り組みのほか、犯罪予防に資することを目的に、防犯性に優れたマンションを供給する三重県防犯優良マンション事業の制度化等は、単に居住空間等の安全性を確保するだけでなく、県民の規範意識と絆の再生につなげていく取り組みにも有効であると考えております。

結びといたしまして、貴協会及び会員の皆様方の今後益々の御発展と御健勝を祈念するとともに、引き続き、警察行政に対します、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人



三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>

■ ご挨拶

謹 賀 新 年

NPO法人 三重県防犯設備協会
理事長 松吉 善弘

会員各位には新しい年を清々しく、お健やかに迎えのことに拝察申し上げます。
昨年とはとても大きな災害や、変化の多い年でありました。あの東日本大震災からはや10ヶ月が過ぎ、あらためて被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、当協会も設立から5年の歳月が経過し、昨年は三重県から受託した防犯設備士の養成事業や、街頭防犯カメラの寄贈など、少しずつ活動を続けて参りました。
本年は「防犯優良マンション認定制度」を実施するため、関係公益団体と連携して、共同認定機関の登録申請を行い、平成24年4月から同制度の開始を目指して、担当理事が全力を傾注しています。
防犯優良マンションの認定は、安全で安心してお住まいいただける住環境であることを公表し、居住される住民の防犯意識を醸成するとともに、当該マンションの資産価値を高める大きな役割を担っています。
また、同制度の継続的な運用を行うためにも、防犯設備士の役割が大きくなって参ります。
翻って、私達の暮らす社会は、少子高齢化がますます進み、一人ひとりの身近な問題として顕在化し、親の介護や独居老人の増加、社会保障や福祉など解決しなければならない問題が山積しています。
また、家族や地域の紐帯が切れ、「絆」と言う漢字が大きくクローズアップされています。
このような社会構造のうねりは、犯罪弱者の増加に繋がり、卑劣な振り込め詐欺や侵入窃盗、強盗殺人など、人々に不安を抱かせるような事件が発生しやすくなっています。
このような状況から、防犯設備士の役割が今まで以上に重要となり、私たちに課せられた社会的な使命を自覚し、尚一層ご活躍下さいますようお願い申し上げます。

■ 協会の活動内容

1. 犯罪のないまちづくりリーダー養成講座in鈴鹿



主催者あいさつ(三重県交通安全・消費生活室長)



自主防からのテーマ発表の司会をする理事長

平成23年10月29日と11月5日13時30分から3時間、三重県の主催による「犯罪のないまちづくりリーダー養成講座」が開催され、当協会から理事のほか個人会員も含め6名が参加いたしました。会場の三重県鈴鹿庁舎4Fには、県内各地で活動されている自主防リーダーが両日とも約70名、熱心に受講されました。

1日目は、警察本部からの三重県の犯罪情勢、犯罪被害者への支援についてのお話しに続き、NHKディレクター黒川氏による地域防犯に生かす「ご近所の底力」のテーマでクイズ形式を交えて講演
2日目は、地域における防犯対策について鈴鹿市民安全パトロール連絡会山中副会長から「防犯パトロールの状況と取組みについて」、県宮桜島団地自治会栗木会長から「抑止力としての防犯カメラ」のテーマで発表され松吉理事長が司会を務めました。



防犯相談デスクを設置

この後、地域社会の安全をどう守るかのテーマで立正大学小宮教授の講演が行われたあと閉会となりました。

両日とも防犯相談デスクを設置、機器カタログ、チラシ、我が家の安全チェックシートなど用意

栗木自治会長の発表のあとの休憩時間では、用意していた配布用資料で日防設作成の防犯カメラの小冊子が全部なくなりました。

相談デスクには、公園での犯罪防止のため防犯カメラの設置（費用は自治会負担）を市に相談したが、住民のプライバシーの関係で許可されなかった、などの相談がありました。

(事務局 加藤記)

2. 伊勢祭り 伊勢度会生活安全協会ブースでPR



来場者に説明する理事

10月16日雨上がりの伊勢祭り2日目に「伊勢度会生活安全協会」様の防犯ブースで防犯啓蒙に協力させていただきました。

このブースでは、伊勢度会生活安全協会事務局、伊勢警察署生活安全課長以下職員の方々と私ども三重県防犯設備協会、伊勢市の危機管理室の方々が防犯防災についてのPRを行いました。

当協会からは藤村理事と宮嶋がCPスタンド/1ドア2ロックスタンド見本と、防犯ガラス見本を持って出向きました。

伊勢の協会員である尾上電気(株)様も最新鋭のドアホンを実演展示され、多数問い合わせを受けておられました。

住民の方々の防犯意識は高く、一日で十数名の方々にご質問をいただきました。

以下抜粋です

「防犯ガラスの性能について」「昨今の侵入手口」「CP錠とは?」「センサーライトの効果」などが主な内容でした。これらに対応して2人で説明し、チラシやワンポイントアドバイスをご覧いただきながら説明させていただきました。

また、「防犯センサー・カメラ付きドアホンの価格等」の質問には 尾上様に直接お答えいただきました。

この日は、恒例の似顔絵コーナーや振り込め詐欺防止チラシ、啓蒙グッズなどが配布され、たくさんの方々に防犯の重要性を理解いただきました。

(宮嶋理事記)

3. 第2回安全・安心推進会議へ出席

今年度 第2回「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議」が、平成23年10月19日三重県総合文化会館で開催され委員の松吉が出席しました。

はじめに、会長、副会長の選出が行われ会長には現会長の上野達彦氏が再任されました。

三重県警察本部から9月末現在の県内犯罪情勢について報告、自主防犯団体のボランティア高齢化問題について意見が交わされました。

そのほか、伊勢市の防犯パトロール隊中西代表から伊勢市自主防犯団体連絡会立ち上げ等について講演がありました。

(松吉理事長記)

4. 防犯優良マンション認定制度事業化推進状況

平成17年6月の犯罪対策閣僚会議で「安全・安心なまちづくり全国展開プラン」の重点推進施策として「防犯優良マンション認定制度」の全国展開が決定、翌平成18年4月には警察庁・国交省の協力の下、全防連・日防設・ベターリビングの全国公益3法人が共同して全国各地域での制度化推進の支援策と、標準となる認定基準等が策定されました。

また同年には警察庁より全国の警察本部長宛てに制度構築に関する通達も出され、全国の防犯設備士関係団体及び建築士関係団体による制度実施に向けた取り組みが始まりました。平成23年12月現在全国で20の地域が防犯優良マンション認定(登録)制度を実施しています。

このような展開がスタートする前から既にこの制度を実施している地域もあり、そこで策定された認定基準や認定を受けた多くのマンション等は本制度の先進的なモデルといえるでしょう。

現在三重県における本制度実施に向けた取り組みは、社団法人三重県防犯協会連合会と公益財団法人三重県建設技術センター及びNPO法人三重県防犯設備協会が連携して平成24年度からの制度実施を目指して作業を進めています。

「三重県防犯優良マンション認定制度」の認定基準は全国公益3法人が策定した標準認定基準をベースにして細目の検討を進めており、平成16年3月に公布された「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり条例」と同条例に基づく「犯罪の防止に配慮した住宅の構造、設備等に関する指針」の内容を満たす基準として、三重県と三重県警察の監修により策定される予定です。

今後は三重県防犯協会連合会・三重県建設技術センター・三重県防犯設備協会の3団体が共同認定機関として全国公益法人の認可を受け、審査資格者養成講習、同資格者認定登録などの手続きを経て、既にスタートしている愛知・埼玉・神奈川に次ぐ全国で4番目の全国公益法人策定の標準認定基準を適用した「全国版認定基準」による制度の運用開始を予定しています。

(前嶋副理事長記)

5. 会員向け技術講習会に関するアンケートを実施

平成23年8月、技術講習会に対する会員向けアンケートを実施いたしました。三防設通信No.8と一緒に会員全員に返信用はがきを発送し下記の通り貴重なご意見をいただきました。今まで、総会に合わせてスキルアップ講習会を実施してきましたが、今後、これとは別に講習の機会を設ける場合、研修内容、実施日時・場所等を適切に設定することにより、会員への働きかけや交流が増え、会員の満足度が向上するのではないかと考えております。今回の結果を踏まえ、会員のニーズにマッチした情報提供、意見交換できる研修会を計画して参りたいと思います。

- ・出席しやすい日時 土・日の昼 (55%) 平日の夜間 (45%)
- ・開催場所 津 (80%) 四日市 (10%) その他 (10%)
- ・興味のあるテーマ ロック (40%) LED防犯照明 (20%) 防犯カメラ (20%) 防犯設備機器 (20%)
- ・いままでの研修について 参考になった (60%)、その他 (40%)

主な意見

最近の犯罪手口、傾向に応じた設備設計に役立つ研修にして欲しい。

官民一体の防犯設備の展示会があってもいいと思う。

防犯機器設備の性能向上はますますスピード化していくのでそのつどお願いしたい。

アンケートにお答えいただいた会員の皆様方ありがとうございました。

6. 寄贈カメラの設置状況

5月に行われました当協会の通常総会で県内3地域の自主防犯活動団体を通じて、地域の防犯対策に役立ていただくために防犯カメラの贈呈を行ないました。そのうち、8月に設置が完了した津市南ヶ丘地区と伊賀市桐ヶ丘地区の代表の方よりカメラ設置に関して寄稿いただきましたのでご紹介します。

1) 児童の通学路に防犯カメラ設置(南ヶ丘小学校通学路)

ご寄稿：津市南が丘地区安全パトロールの会 代表 中島 格様



寄稿いただいた 中島 格様



防犯カメラ設置の地下道を通学

当会は、平成16年12月に結成され早くも7年が経過した。今では地域のボランティア約30名（準会員PTA670名）で、市立南が丘小学校の児童（815名）の安全確保に頑張っています。このたび、平成23年度貴協会の通常総会において、防犯カメラの寄贈をいただき、関係者一同感謝しております。

カメラの設置に至る過程での問題点などを少しご紹介させていただきます。

一般に公共の場所に設置する防犯カメラは、市民のプライバシーを侵すとの声が大きく、問題があるとのことで、先進都市ではカメラ設置に係る条例を制定して問題点をクリアしている。わが県内ではどこも条例制定には至っていない。それがため行政としてもこのような申請が初めてということもあり、慎重の上にも慎重な態度で臨んできた。

その結果、再三にわたる協議・覚書、カメラ設置後の運用規定の締結などにより防犯カメラの適正な設置や運用について行政から了解を得て、申請後2ヶ月にて許可が下された。その間、貴協会の役員さんの熱意溢れる折衝は筆舌に尽くし難く、ただただ敬意と感謝の意を表するものであります。

カメラ設置後5ヶ月が経ちますがクレームもなく正常に作動し、児童の安全確保に活躍しています。結びに、貴協会のますますのご発展と会員様のご多幸をお祈り申し上げます。

2) 桐ヶ丘地区の防犯活動のご紹介と防犯カメラ設置

ご寄稿：伊賀市桐ヶ丘住民自治協議会 副会長兼事務局長 岩間 勝様

「平成23年8月23日にカメラ作動開始しました。桐ヶ丘地区防犯ネットワーク委員会による青小・青中生徒の登下校時の見守り強化と団地内の安全・安心に役立つものと期待しています。ご支援を頂いたNPO法人三重県防犯設備協会や関係機関の皆様に御礼申し上げます。」



通学路へ設置された防犯カメラと青パト

の記事と写真を桐ヶ丘地区住民自治協議会月刊広報誌「広報きりがおか9月号」に掲載すると共に伊賀市市民活動推進室が提供する桐ヶ丘地区住民自治協議会のブログにも掲載し、伊賀市市民並びに桐ヶ丘住民の皆様にご報告を致しました。住民も「防犯カメラがつけましたね!」と関心を持ち、桐ヶ丘地区防犯ネットワーク委員会の参加24団体によるパトロール活動との相乗効果により地区の防犯力は高まっております。

桐ヶ丘地区の防犯活動は、自治会防犯部会が主に行っていましたが、平成18年7月に、桐ヶ丘自治会に、防犯部会と協働する「桐ヶ丘防犯ネットワーク連絡会」を設置し、同年12月に三重県警察本部から「青色回転灯を装置して適正に自主防

犯パトロールを実施することが出来る団体」の認定を受け、青パト車隊員(団地内ボランティア)による活動を開始しました。

その際、パトロール活動を補完する防犯対策として長期的に抑止力を高める防犯カメラを桐ヶ丘団地への幹線道路入り口に設置することも検討しましたが、プライバシー保護や画像の管理など管理運用と費用面で対応が難しいことから諦めた経緯がありました。

平成20年4月9日に桐ヶ丘地区住民自治協議会に特別委員会「桐ヶ丘地区防犯ネットワーク委員会」を設立し、事務局を基地に防犯活動をしている団体、関係機関をネットワークでつなぎ、地域の防犯活動の機能と効果を最大限高める事業がスタート、定例会でPDCAサイクルを実施する持続的な活動体制を整え、機関誌「桐ヶ丘地区防犯ネットワーク通信」を発行し防犯活動の啓発も進めています。

平成23年4月25日、NPO法人三重県防犯設備協会様の訪問を受け、桐ヶ丘地区住民自治協議会橋本会長、岩間事務局長、小林防犯部会長がお会いしました。

三重県防犯設備協会様から、記念行事の一環として三重県内3箇所に防犯カメラの設置を計画したところ三重県警察本部に四日市三滝台地区、津市南ヶ丘地区、伊賀市桐ヶ丘地区を推薦されましたので、防犯カメラを寄贈したい旨の申し出を頂きました。

防犯カメラシステムはモニターが無いメモリーチップに約6日間経過すると上書き録画するクロードシステムで、事案発生時のみ警察、自治会、防犯設備士が立会い制御ボックスからメモリーチップを取り出して、警察署で検証しますとの説明がありました。

前述の防犯カメラ設置を諦めた要因であった管理運用面で信頼できる方法であり、住民に理解が得られ易いと判断し設置を検討する事に致しました。

先ず、青山小学校竹岡校長先生に児童の登下校時の見守り強化と団地内安全・安心を図る目的で、校門前と交差点が画像に入る位置に防犯カメラを設置する計画を説明しご理解を頂きましたので、5月7日の自治会役員会で協議しました。

住民には全戸配布する月刊広報誌「広報きりがおか」に計画を掲載し周知を進め、自治会の総会に次ぐ議決機関である組長会で説明し同意を頂く手順が決定されました。

5月30日三重県防犯設備協会様から防犯カメラ機材一式を寄贈頂き、6月6日に防犯カメラ管理運用規定を作成。防犯カメラの設置場所が伊賀市の緑地帯であり、伊賀市青山支所に伊賀市市有財産使用許可申請書に必要書類を添付して提出。8月2日に市が教育委員会と青山小学校長にカメラ設置の説明も終え、使用許可書の交付を受けました。

8月4日に設置位置を再確認し、防犯カメラ、看板等の設置を終了し、8月23日にカメラの作動が開始されました。

カメラ作動開始まで4ヵ月を費やしましたが、プライバシー保護面で殆ど問題が無かった事、画像の管理運用面で信頼できる方法であった事、加えて名張警察署、伊賀警察署や青山支所を含め関係機関のご協力も頂き、課題をクリアすることが出来ました。

改めて桐ヶ丘住民を代表して厚く御礼申し上げます。今後も地域の総合力で「安全・安心な住み良いまちづくり」を目指し活動して参ります。

■ 今後の活動計画

1. 防犯優良マンション認定制度事業化推進
2. 学童の安全対策に関する調査・研究
3. 県・県警と連携した防犯講習会開催
4. 全国地域安全運動への協賛
5. 防犯優良駐車場の事業化推進
6. セキュリティアパート認定制度の調査・研究

■ 関連行事・イベント、その他

1. 第6回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会

平成23年11月11日 神戸市のホテルモントレにおいて都道府県防犯設備士(業)協会全国大会が、全国36協会の内23協会から出席、総勢66名で催され、当協会からは副理事長と事務局長が出席しました。

本会議では日防設の服部代表理事の開会挨拶に続き、警察庁と兵庫県警察本部より来賓のご挨拶がありました。



本会議で質問する事務局長

議事では報告事項とこれに関連する質疑応答があり、出席者から多くの質問と意見が出され活発に討議が行われました。

日防設からの報告事項は

1. 現在の地域協会と防犯設備士数
2. 地域協会へのアンケート調査結果の報告
3. 日防設、地域協会の役割分担と実施状況
4. 防犯設備士の更新制度と専門研修について
5. 防犯優良マンション認定制度の検討状況について

日防設からの報告につづく質疑応答では、加藤から防犯設備士資格のメリット向上と、防犯優良マンションの国民への認知度向上策について日防設の取組み強化を強く要望いたしました。

続いて地方協会の兵庫、福岡、奈良、福島から活動報告があり、兵庫の防犯優良駐車場、福岡のセキュリティアパート認定制度、奈良からは県の「地域貢献助成金制度」を利用(年間50万円)、福島では住宅の防犯診の結果により警察立会で防犯マークがもらえる制度など大変参考になる発表がありました。

第2部の講演会では、RBSS委員会 三澤委員長より「MIP教育プログラムについて」のテーマでこれから進めてゆく予定のマンションのIP化に係る教育プログラムの内容紹介が発表されました。

大阪府防犯設備士協会 平野理事長の乾杯の音頭で始まった懇親会は盛会のうちに20時で閉会となりました。

(事務局 加藤記)

2. 三防設のホームページをリニューアルしました



いままで運用が不十分であったホームページを全面的にリニューアルして11月から公開しております。

トップページを親しみやすいイラストに変更、事業内容、会員会社案内、入会案内、メールによる協会への問合せ等を追加したほか防犯設備士とは、三防設通信(1号から8号)を掲載いたしました。

三防設のホームページアドレスは <http://www.miebouhan.com> で、

アクセスは

三重県防犯設備協会

検索

三重県、三重県警察本部、日防設はじめ全国の防犯設備士(業)協会などの関係機関、関係団体ともリンクが張られておりますのでご利用ください。

今後とも会員の皆様への情報提供に努力して参ります。

■ 会員企業の活躍ご紹介

会員の中でユニークな企業活動、商品開発が行われている例を紹介いたします。

今回は震災時、防災倉庫の鍵を自動的に開錠する装置を開発、脚光を浴びている三愛物産（株）様の開錠装置をご紹介します。

逆転の発想“地震自動解錠装置”

三愛物産株式会社 三重支店 環境開発グループ 小 掠 伸



避難誘導ポール



(三重大共同開発製品)

地震自動オープン錠

NHKテレビ「おはよう日本」でも紹介されました地震を感知して人命救助用の防災機器が保管されている倉庫の錠を自動的に解錠する装置を開発致しました。

阪神淡路大震災では、3万5千人の8割の人が共助によって救助されたと報道されております。また、「ポール一本あったなら助けられたのに」と、言った悲痛な声も聞かれました。

東北地震においてもおそらく津波に流された方々の中には倒壊した家屋に閉じ込められた人や自力では逃げられなかった人たちが大勢おられたことと思います。

各自治会や町内会では、そのような災害対策として防災倉庫に油圧ジャッキや発電機などいろいろな救命・救助機材を保管しておりますが、当然セキュリティ上、施錠されております。

その合鍵の保管は、複数の人によって管理されておりますが、民家が倒壊するような大地震では鍵を持って駆けつけることができない方々がおられるものと思います。

そのようなときに自動的に錠が開いて中の道具が取り出せれば誰でも救助に向かうことができる優れたものの装置です。

また、非常口扉に設置すれば外から中への救出作業も容易になります。多くの方が逃げ込む避難場所としても利用できます。

従来の中から外への考え方を災害時だけは外から中へと発想を逆転し、とにかく一人でも多くの命が救えたらと言うことから考え出された「地震感知自動解錠装置」であります。

命を救うと言うことは、施錠・解錠関係なく大災害時に於いては防犯設備も防災設備も同じ方向性をもつものと思います。

また、太陽光発電を用いて地震の発生と同時にサイレン音と避難場所や避難時の注意アナウンス、つづいてラジオ放送がスピーカーから流れる避難誘導ポールも数年前に開発し実績も数多く販売しております。

【特長】

- ・防災機器格納庫の扉を地震と同時に自動解錠します。
地震の揺れを感震器が検知し、サーボモーターを作動させて開錠します。
- ・解錠装置には電気式と機械式の二種類があり、何れも既存の鍵を取り付けたまま増設することができます。
- ・機械式は電気を必要とせず、コンパクトに取り付けが可能です。
- ・電気式はバッテリーを用いて太陽光発電またはAC電源の何れかの充電で解錠します。

【基本機能】

- ・震度6弱で解錠します。但し、機械式は直下型地震では解錠しません。
- ・既存の鍵で施錠ができます。
- ・解錠装置は戸あたり柱に取り付ける方法とします。

この商品のホームページ <http://www.sann-ai.co.jp/bousai/warehouses/index.html>

■ 商品紹介・一口メモ (三防設通信発送時 カatalog、チラシを同封しております)

・ 美和ロック株式会社

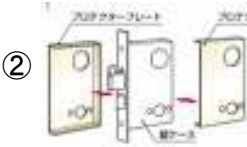
<防犯建物部品CP錠4つの特長についてご紹介>



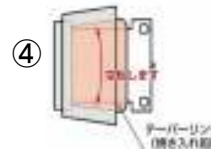
① 防犯サムターン
ドア内側のサムターンはボタンを掴まなければ作動させることができません (サムターン回し対策)



② 超硬部品内蔵シリンダー
シリンダー、シリンダー周辺部品のまわりに焼き入れ部品や超硬部品を内蔵 (ドリリング対策)



③ プロテクタープレート
焼きの入ったプレートを錠ケースにまといわせる (バイパス解錠対策)



④ テーパーリング
シリンダーの本体外周にテーパーリングをまといわせる (シリンダーのもぎ取り対策)

・ パナソニック株式会社



<新商品紹介>

ホームセーフティー機能充実の「どこでもドアホン」
7型ワイド液晶搭載

【品番】 VL-SWD700KL オープン価格

モニター親機には約7型広視野角タッチパネル液晶を採用
玄関先の映像をひずみの少ない広角映像でとらえ、大画面で確認することが出来ます。拡大したい部分も、画面をワ
ンタッチするだけで簡単にズームアップ

また、留守中に来客があっても、SDメモリーカード(別売品)に動画で保存して帰宅後にチェック可能
このほか、窓センサーやファックス、電話機、センサーカメラ、ビエラ、ディーガ、住宅用火災警報器、
携帯電話などとの連携で、ホームセーフティーを更に充実させることが可能です。

■ 会員紹介

・ 会員動向

新入会員 なし
退会 なし

・ 会員プロフィール紹介



荒木 貴史 NPO法人 三重県防犯設備協会 理事

住所 三重県津市北丸の内166
勤務先 パナソニック(株)エコソリューションズ社 三重電材営業所
電話 059-227-2251(代)
E-mail araki.taka@jp.panasonic.com
HP http://panasonic.co.jp/pew/
趣味 ゴルフ・テニス・コンサート鑑賞・読書

コメント

札幌より転勤して参りました。
今後、パナソニックとして、家・街まるごとの防犯・セキュリティ商品のご提案、
販売を通じ快適で、安全・安心な社会づくりの為、貢献して参りたいと思います。

■ 事務局からのご連絡

・ 次回発行予定 三防設通信は第10号を平成24年8月にお届けの予定です。

・ 今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。

メール/ info@miebouhan.com または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0112 三重県津市一身田中野93-1 (三重電業内)
TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586